

## 職員の学校自己評価 〈後期集計結果〉

2021年12月

〈集計の仕方〉

※ A：十分達成→5点 B：おおむね達成→3点 C：やや不十分→1点 D：不十分→0点 とし、合計点を全員がA（5点）をつけた場合の何%にあたるかを達成度とした（人数は、項目により異なる）。

◎ (A×人数) + (B×人数) + (C×人数) + (D×人数) = 合計点 合計点 ÷ (5×合計人数) × 100 = 達成度

学校目標を具現するための指導体制の確立と実践				
評価の観点	2020 12月	2021 7月	2021 12月	成果(O) や 課題(◇) ・ 改善策(◆)
① 3つの重点目標の具現に向けて、職員が共通認識をもち、連学年、学年、学級で取り組んでいるか。	68	68	☆ 84	○子どもたちは、全般的に落ち着いていると思う。
② 児童は、返事や発言の仕方、聴く態度が身についている	53	56	☆ 76	○体を向けて聞くように声をかけてきた。少しずつできてきた。 ○聞く態度はよくなってきている。 ◇敬語を使って発言することが定着しない。 ◇一部、まだまだ育てたい子がいる。 ◇発言・返事の仕方は、常に指導しているが、なかなか身につけにくい。 ○◇個人差はあるが…。
③ 児童は、進んで考え、自分なりに表現しようとしているか。	63	56	☆ 87	○作文や絵、工作、ダンスなど自分の表現したいことをしっかり持って表現ができるようになったように思う。 ○感想や意見を、自分の表現で記述したり発表したりしようとする子が増えた。 ○いっしょうけんめい授業に取り組める子が多い。 ◇一部、まだまだ育てたい子がいる。 ◇今の教育課程では、教科書を進める型にはめる授業展開になっている。 ◆教科担任制や合科など、今までの教え込みから転換しなければならない。
④ 児童は、自分から挨拶ができてきているか。	48	☆ 60	52	○「生活係」の呼びかけであいさつができるようになってきている。 ◇一部、まだまだ育てたい子がいる。 ◇あいさつができるようになるように、なかなか手立てを打てなかった。 ◇できている子とそうでない子に差がある。 ◆できる子、できない子、ありのままを受け止めたいと思う。あいさつをすると気持ちがいいな…と思えるような機会を考えたい。
⑤ 児童の清掃は、低「自分のやることをしっかり」中「自分から気づいて動く」高「責任をもち、そうじ場所と自分の心を振り返る」はできているか。	76	73	☆ 78	○1年生なりによくやっている。純粋な思いで取り組める1年生の段階から、心みがき清掃を感覚で身につけていくことが大切だと感じる。 ○◇そうじの仕方を、自分なりに考えたり友達の姿を見てまねをしたり、ふりかえりに記述できるようになった。反面、まだまだの子もいる。 ○◇心みがき清掃をいっしょうけんめいできる子が多い。生活と結び付けられるといいが、そこまでは難しい。 ○個人差はあるが、その子なりに考え、自分から、どこをどんなふうにするか、考えながら掃除をする様子が見られる。 ◇一部、まだまだ育てたい子がいる。

基礎的な学力の定着と自己表現の育成

<p>⑥重点研究は、具体的な子どもの姿にもとづき、自己課題を意識した研究になっているか。</p>	67	53	★ 60	<p>○先生方の授業を通して、体育における「学び合い」が見えてきたように思える。 ○子どもの実態から授業を考えることができ、成果が見られた。 ◇研究グループで授業を見せてもらって勉強になったが、いざ自分で学び合いの授業を作ろうとすると、学習問題をどう作ったら良いか悩んでいる。</p>
<p>⑦子ども自身が今持っている力で考え、行動し、「自分の力でできた」と実感できる授業づくりをしているか。</p>	56	56	55	<p>◇教師主導になりがち。(特に指導内容が多く、時間がとりにくいときは) ◇やる気スイッチが入らないこともあり、どう学習に気持ちを向けるか課題がある。</p>
<p>⑧学習問題を黒板に提示し、ねらいを明確にした「わかる授業」を行っているか。</p>	60	50	53	<p>◇実態に合うように授業を行えていない時がある。 ◆具体物を使い、目に見える教材を使うようにしている。 ◆その時間に何をやるか、見通しが持てるようにしている。 ・それを決めるのは児童。わかるように指導はしているつもり。</p>
<p>⑨一斉指導・グループ学習・個別指導、PCなどでメリハリのある授業を展開しているか。</p>	64	54	51	<p>○グループ学習に慣れてきて、みんなが参加できるようになった。 ◇Chromebookの活用があまりできなかったので、活用を進めていく。 ◇ICT活用に関しては、教師自身ももっと活用の可能性を学ぶべきだと痛感する。</p>
<p>⑩学習内容を定着させるために、授業の終末で「見とどけ」をしっかり行っているか</p>	45	46	44	<p>○◇算数はスキル等で定着を見ることができているが、他の教科ができていない。 ◇ノートの提出をさせて、ノートに学習内容がまとめられているか点検した。ノートに感想がかけなかった。 ◇ICTの活用は、まだまだできていない。できることを全職員で考えていきたいところだ。 ◇見とどけまでできないことが多い。 ◇見届けまでいかない場合が多い。 ◇すべての授業では行えていない。</p>
<p>⑪授業につながる宿題を工夫し、保護者と協力しながら学年に応じた指導をしているか。</p>	62	65	65	<p>○学年で統一させたり、検討したりしながら進められた。 ◆少し難しい宿題を出している。保護者には「学習したことを使って解く問題」と理解してもらい、協力していただいている。 ◆保護者と宿題カードのやり取りもしながら、やることをはっきりさせ、保護者にも協力していただいている。</p>
<p>よりよい人間関係づくり</p>				
<p>⑫子どもが楽しく登校できるように、一人ひとりに声掛けしたり、家庭と連携をとったりしながら、一人ひとりに居場所がある学級づくりを行っているか。</p>	71	60	65	<p>◇個人個人、悩むところが異なり、特に友人関係での悩みが増えており、確実に対応できているかと言えば不明。 ◆友達のことでも気になることは、家庭と連携を取って時間を空けずに指導をするようにしてきた。何か気になったら、担任に遠慮なく知らせるように保護者にも子どもたちにも伝えている。 ◆なかよし学級の子たちが位置づくように配慮している。また、特性のある子にも配慮するようにしている。</p>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>◆なかよし学級を居場所として気持ちを落ち着けながら、必要な SST を行い、関わり方が学べるようにしている。</li> <li>◆子ども達の言葉に耳を傾け、心を寄せ、つぶやきに込められた思いをどう扱っていくかを考えながら対面している。子ども達が話しやすい雰囲気(空間も自分も)を心掛けている。</li> </ul>
<b>教育相談</b>				
⑬保護者や子どもからの相談に対して、適切な対応ができていますか。	70	64	62	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆困っていることばかりでなく、良いところが伝えられるよう「つむぐ」に一言書いた。</li> <li>◆悩んでいる時間も大切に捉えながら、本人が気づいたり受けとめたりの経過を見守り、実際の動きにつながる支援を心掛けている。</li> </ul>
<b>情報発信</b>				
⑭学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で伝えていますか。	75	64	64	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日連絡帳を通し、保護者と情報を共有することができている。</li> <li>◇学級だよりを工夫したり、発行の回数を増やしたりできればよかった。</li> <li>◇学級だよりが最近出せていない。</li> </ul>
<b>安全安心対策</b>				
⑮学校は、下校指導や、安全点検等を行い、事故防止や安全指導ができていますか。	72	70	66	
<b>非違行為防止</b>				
⑯非違行為防止に努めていますか。	86	87	89	